

1. 授業のテーマと目標

本講義の目標は、集計モデルと非集計モデルを理解し、簡単な非集計モデルを推定および解釈できるようにすることである。前半では非集計モデルと相対する考え方に基づく集計モデルについて講義を行い、後半では非集計モデルの講義を行う。同一の分析を、集計モデルと非集計モデルの両方で行った事例を紹介し、両モデルの特徴の理解を促進することも検討している。演習としては多項ロジットモデルの推定を予定している。なお、本講義で取り扱う事例の多くは交通行動であるため、交通を専門とする学生の受講は特に歓迎する。また、消費者行動分析（消費者選択行動分析）を行う学生の受講も歓迎する。

2. 授業の概要と計画

1. 交通行動分析の基礎（交通と交通調査）
2. 集計モデル 1（集計型 4 段階推計法の概略）
3. 集計モデル 2（発生・集中）
4. 集計モデル 3（分布）
5. 集計モデル 4（分担）
6. 集計モデル 5（配分）
7. 非集計モデル 1（2 項選択モデル）
8. 非集計モデル 2（多項選択モデル）
9. 非集計モデル 3（特定化と推定）
10. 非集計モデル 4（集計化と予測）
11. 非集計モデル 5（非集計モデルの適用）
12. 交通行動分析 非集計モデル 1（非集計モデルの最近の動向）
13. 交通行動分析 非集計モデル 2（演習：多項ロジットモデルの推定）
14. 期末試験

3. 成績評価方法と基準

レポート（60%程度）および期末試験（40%程度）により評価する。

4. 履修上の注意

本講義は、第 1 群科目として市場経済分析特論あるいはマーケティング特論、第 2 群科目として数学的方法論と統計的方法論とも関連すると考えられる。指導教員とも相談の上、受講を検討されたい。

5. オフィスアワー・連絡先

講義中の質問を歓迎する。オフィスアワーは設けないが、電子メールによる質問や電子メールでアポイントメントを取った上での質問にも対応する。

6. 学生へのメッセージ

事前知識は特に必要としないが、ミクロ経済学の基礎と確率・統計学の知識があったほうが望ましい。講義には電卓（できれば関数電卓）を持参すること。

7. テキスト

特に指定しない。

8. 参考書・参考資料等

- ・北村隆一・森川高行編著（2002）交通行動の分析とモデリング，技報堂出版。
- ・Ben-Akiva, M. and Lerman, S. R. (1985) Discrete Choice Analysis: Theory and Application to Travel Demand, The MIT Press.
- ・土木学会土木計画学研究委員会編（1995）非集計行動モデルの理論と実際，丸善。
- ・交通工学研究会編（1993）やさしい非集計分析，丸善。

- ・竹内伝史・本多義明・青島縮次郎・磯部友彦（2000）〔新版〕交通工学，鹿島出版会.
- ・樗木武・井上信明（2002）交通計画学〔第2版〕，共立出版.